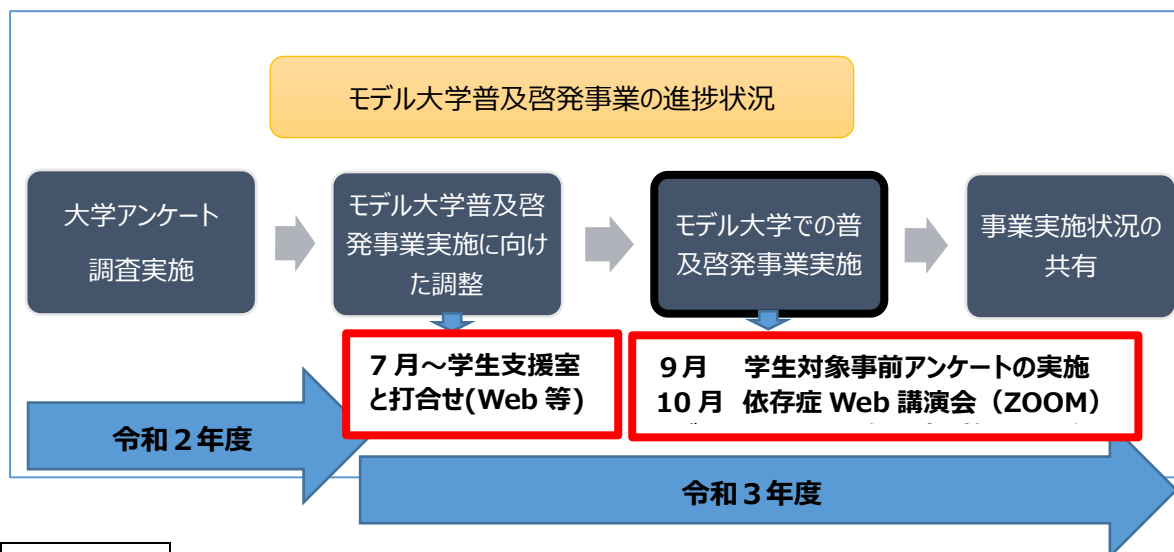


① 令和 3 年度モデル大学普及啓発事業の進捗状況について

- 若年者の依存症対策として酪農学園大学にモデル大学を協力依頼。普及啓発事業の取組について、大学学生相談室と連携し Web 講演会を企画、10 月実施予定（別紙プログラム参照）



大学との打合せ

- 学生支援室と当課担当者の Web 打合せ、メール、電話により実施

事前アンケート

- 学生の依存症に対する捉え方や心配事、知りたいことなどについて把握し、回答結果を講演内容に反映
- インターネット（Googleforms アンケート）により実施（学生支援室→全学生）
- 事前アンケート回答から申し込めるように、申込フォーム URL を事前アンケートフォームに記載

Web 講演会

- 夜間帯（18:30～20:30）に設定（学生相談室と調整）
- ZOOM によるオンラインと、オンデマンド配信により視聴可能な期間を設ける
- 事後アンケート（理解度、満足度）及び学生支援室との打合せを実施し評価する

<今後の方向性の考え方>

- 現モデル大学との普及啓発の拡大・充実または他の大学との取組の拡大

② 令和 3 年度普及啓発セミナーの進捗状況について

- 目的 ギャンブル等依存症やアルコール健康障害に関する正しい知識や予防について理解し、ギャンブル等依存症やアルコール健康障害で悩む方の早期相談及び回復支援について普及啓発を図る。
- 方法・時期 ZOOM オンラインセミナー 令和 3 年 11 月下旬
オンデマンド配信 ZOOM オンラインセミナー後 1 ヶ月間（予定）
- 対象者 一般住民
- 講演・講師 （1）ギャンブル等依存症について 北星学園大学 田辺教授
（2）アルコール健康障害について 旭山病院 山家理事長

<今後の方向性の考え方>

- 推進計画の重点目標 1（計画書 p17）により継続実施とし、方法、内容について検討

重点目標 1 ギャンブル等依存症に関する知識の普及を徹底し、将来にわたるギャンブル等依存症の発症を予防します

